



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 イー・ギランティ株式会社  
コード番号 8771 URL <http://www.eguarantee.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江藤 公則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 唐津 秀夫

TEL 03-5447-3577

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,785	5.3	560	29.5	568	29.7	326	42.3
24年3月期第2四半期	1,695	4.8	432	12.7	438	12.1	229	7.3

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 352百万円 (34.2%) 24年3月期第2四半期 262百万円 (19.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	64.72	64.64
24年3月期第2四半期	56.82	56.45

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第2四半期	6,691	4,034	53.5	709.80
24年3月期	6,631	4,283	55.3	726.62

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,582百万円 24年3月期 3,667百万円

(注) 平成25年3月期第2四半期の純資産は「従業員持株会支援信託ESOP」が保有する当社株式285百万円を自己株式として控除しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期		0.00		25.00	25.00
25年3月期		0.00			
25年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,640	6.5	980	16.3	1,000	17.0	530	13.1	104.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	5,047,900 株	24年3月期	5,047,900 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

25年3月期2Q	80 株	24年3月期	80 株
----------	------	--------	------

期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	5,047,820 株	24年3月期2Q	4,040,400 株
----------	-------------	----------	-------------

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

9月に発表された政府の月例経済報告は、景気の基調判断を「回復の動きに足踏みがみられる」とし、8月に引き続き下方修正となりました。世界経済の減速等により、生産が「弱含んでいる」上、個人消費も「横ばい」となる等、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、先行きの不透明感が強まる状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境を見ますと、平成24年度上半期の企業倒産は5,439件で、前年同期比5.0%の減少となり、3年連続で前年同期を下回るなど、中小企業金融円滑化法による倒産抑制が続く一方、同法利用後に倒産した企業の件数は184件（前年同期比104.4%増）に達しており（帝国データバンク調べ）、変調の兆しが出てきております。

このような環境下、信用リスク保証サービスは引き続き堅調に推移いたしました。

大企業からの低リスク引受けを継続する一方、リスクに見合った価格設定を可能にするため流動化手法の多様化に取り組みました。

また、引き続き、販売チャネルとの人的交流を含めた緊密な連携に基づく営業活動を軸に、全国各地で新規顧客開拓や販路拡大に向けた施策を着実に実行し、新たなチャネルとして株式会社東京スター銀行のほか、九州電力株式会社の関連会社である九電産業株式会社と提携いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,785,946千円（前年同期比5.3%増加）、営業利益560,746千円（前年同期比29.5%増加）、経常利益568,167千円（前年同期比29.7%増加）、四半期純利益326,673千円（前年同期比42.3%増加）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、6,691,774千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、5,629,897千円となりました。これは、現金及び預金が851,630千円減少したことや前払費用が521,546千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて40.1%増加し、1,061,877千円となりました。これは、投資有価証券が331,147千円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて13.1%増加し、2,657,419千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し、2,348,140千円となりました。これは、未払法人税等が69,609千円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて368.8%増加し、309,279千円となりました。これは、「従業員持株会支援信託E S O P」の信託契約に伴う長期借入金が236,898千円増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、4,034,355千円となりました。利益剰余金は200,477千円増加いたしました。少数株主持分が163,898千円減少したことや、「従業員持株会支援信託E S O P」の信託契約に伴う自己株式が285,370千円増加したことによります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

10月の月例経済報告は、3カ月連続で基調判断が引き下げられ、「弱めの動きとなっている」として「回復」の文字が削られました。基調判断の3カ月連続の引き下げは、リーマンショック後の5カ月連続下方修正以来であり、民間のエコノミストの間では、日本経済が既に景気後退局面に入っているとの見方も出てきております。ま

た、倒産動向についても、中小企業金融円滑化法の終了まで半年を切り、今後の倒産件数急増が現実味を増してきました。

こうした環境を見据えた上で、当社グループは、低リスク分野でのリスク引受け拡大を継続し、大企業顧客の更なる拡大に注力いたします。また、手形・債権買取サービスなど保証を活用した周辺ビジネスにより、金融機関と連携した取り組みを進め、売上拡大を目指します。

また、外部環境の変化に左右されずに低リスクゾーンから高リスクゾーンまで幅広いリスクを安定して引受けられることを可能とするリスク引受け力の拡大を図ります。そのため、リスク流動化手法を多様化すると共に、ファンドへの流動化を更に拡大してまいります。

平成25年3月期の連結業績予想は、平成24年5月14日に発表いたしました売上高3,640百万円、営業利益980百万円、経常利益1,000百万円、当期純利益530百万円から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,617,493	3,765,862
売掛金	33,557	30,916
有価証券	498,324	499,190
前払費用	620,686	1,142,232
繰延税金資産	70,444	70,444
未収入金	11,476	71,801
その他	22,215	49,449
流動資産合計	5,874,198	5,629,897
固定資産		
有形固定資産	40,655	35,666
無形固定資産	123,391	103,053
投資その他の資産		
投資有価証券	517,835	848,983
その他	75,871	74,174
投資その他の資産合計	593,707	923,157
固定資産合計	757,753	1,061,877
資産合計	6,631,951	6,691,774
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,009	14,757
1年内返済予定の長期借入金	—	59,041
未払法人税等	151,563	221,172
保証履行引当金	85,044	107,718
賞与引当金	74,039	78,318
前受金	1,833,733	1,760,356
その他	91,449	106,774
流動負債合計	2,282,838	2,348,140
固定負債		
長期借入金	—	236,898
役員退職慰労引当金	63,392	70,490
その他	2,573	1,890
固定負債合計	65,966	309,279
負債合計	2,348,804	2,657,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,418,401	1,418,401
資本剰余金	828,401	828,401
利益剰余金	1,421,091	1,621,569
自己株式	△57	△285,428
株主資本合計	3,667,837	3,582,944
新株予約権	42,374	42,374
少数株主持分	572,934	409,035
純資産合計	4,283,146	4,034,355
負債純資産合計	6,631,951	6,691,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,695,931	1,785,946
売上原価	663,587	598,702
売上総利益	1,032,343	1,187,244
販売費及び一般管理費	599,353	626,497
営業利益	432,989	560,746
営業外収益		
受取利息	5,299	8,440
営業外収益合計	5,299	8,440
営業外費用		
支払利息	87	87
為替差損	—	67
持分法による投資損失	—	865
営業外費用合計	87	1,020
経常利益	438,201	568,167
税金等調整前四半期純利益	438,201	568,167
法人税等	175,273	215,392
少数株主損益調整前四半期純利益	262,927	352,774
少数株主利益	33,355	26,101
四半期純利益	229,571	326,673

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	262,927	352,774
四半期包括利益	262,927	352,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,571	326,673
少数株主に係る四半期包括利益	33,355	26,101



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。